



三重県電気工事業工業組合
 三重県電気工事協力会
 発行人 角谷利夫
 編集責任 広報委員会

活発な意見交換!!

中部経営セミナー開催

去る九月八日～九月九日
 愛知厚生年金会館において
 中部電気工事業組合連合会
 の第十四回経営セミナーが
 開催され、中部各工組から
 一五名の多数が参加、当
 県からは十五名が参加し、
 二日間わたる熱心な討議
 を行った。

第一日目は講師による講
 演として、岡山病院長の
 「中・高年齢の健康管理に
 ついて」、経営者として、
 また中・高年齢者としての
 健康管理の問題点をいろいろ
 な事例を参考にユニーク
 な発想での講演、特に健康
 的な生活習慣による健康貯

蓄のための各ポイントの解
 説、日常生活の中での諸条
 件等、経営者として低成長
 時代におけるストレスのな
 い精神的安定の必要性を強
 調されるなど、豊かな人生
 を願うための基本的な講演で
 あった。

続いて去る八月四日公布
 された建設業法施行令の一
 部改正による「電気工事に
 関する技術検定」制度につ
 いて、建設省、建設経済局
 建設業課、島田課長補佐か
 ら制度内容についての説明
 があり、今後の実施予定内
 容が紹介された。
 引き続き代表による質疑

応答で第一日目を終了。

第二日目は各分科会に分
 散討議、本年度は事前に各
 テーマ、サブテーマ等が示
 され、各県工組の代表者に
 よる意見発表を基に各分科
 会で討議をすすめた。

◎第一分科会

「経営について」

座長 愛知県

水野副理事長

各県代表者による意見発
 表内容は大略つぎのとお
 り。

1、技術の修得について

(1) 新技術の修得のため
 の各種講習会への積極
 的な参加。



中部経営セミナー全体会議

- (2) 問屋、メーカーとの
 共存共栄の精神による
 連携、情報交換による
 新技術知識の早期修
 得。
- 2、営業分野の拡大
- (1) ロスとムダを無くし
 事業所一丸となって取
 組む。
- (2) 従業員一人々々に経
 営の意識をもたせる。
 (3) お客さま第一にする
 ために。
 ① 常にお客さまとの
 コミュニケーション
 を図る。
 ② 一度施工したお客
 さまは絶対離さない
 ③ 施工した現場の資
 (二ページへつづく)

第一分科会



料を保管しどんな時でも対応する。

④ お客さまとの約束を守る。

3、人材養成について

(1) 経営方針に合うよう時間をかけて教育する

(2) 従業員に時間のゆとりと技術者としてのプライドを持たせる。また経営に参画させる。

(3) 福利厚生充実

4、資本金について

(1) 地道な努力

(2) 付加価値の高い新技術に挑戦

(3) 基本は工事日報の作成

等、中小企業に生きる道

として常に需要家のニーズに即応できる経営方針の必要性がそれぞれ発表され、その対応策等について討論された。

◎第二分科会

「業界のあり方」

座長 静岡県 齋木副理事長

各県代表による意見発表

大要はつぎのとおり。

1、業界のレベルアップと利益率の悪い業界の需要構造の改善

2、組合活動を通じての各企業の近代化

3、新技術を修得し、営業分野の拡大を図り新しいニーズに応える。

4、仕事量の不足による採算を度外視した受注をしない。

5、組合として、ニューメディアなど新技術や最新の情報の収集と提供。

6、分離発注の促進、地域業者の優先を官公庁等へお願いする。

7、組合を中心に連帯意識を強化するために

(1) 建設業法との関連による諸問題の解決

(2) 業法・士法の適正な運営

(3) 分離発注の促進と適正価格でダンピング防止

(4) 未加入者の加入促進

(5) その他環境整備に関する諸問題

◎第三分科会

「青年部について」

座長 岐阜県 清水副理事長

現在活発に活動中の愛知・岐阜・三重の青年部会員を中心として約四十名参加、その代表による意見発表の大要つぎのとおり。



第三分科会 (飯田会長の意見発表)

(3) 技能職の登録による人材派遣

組合を中継

センターとした応援体制の確立や集団求人活動の実施

2、意識改革をすすめるために

(1) 運命共同体としての意識を浸透させ組合への結束強化

3、組合組織運営の活性化 全組合員にFAX導入、情報伝達の迅速化、組合と組合員のパイプを太くする。

などが発表され青年部独自の活発な討議が実施された。

なお細部についての結果報告書は連合会において集約中で近く各地区に配布予定であり、今後の組合運営、経営改善に大いに活用されますようお願いいたします。

検討。

(1) 電力会社の申込受付に受託業務現況について、先進工業組合の視察研究

(2) 積算受注の指導徹底を図るため、組合大型コンピュータを設置し組合員の端末機とオンラインで結ぶ方策の検討。

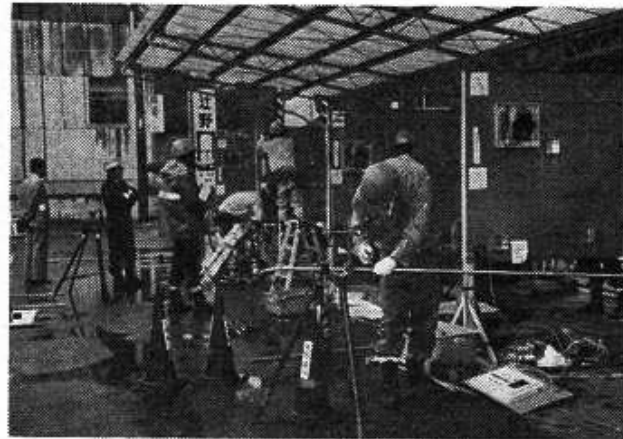
第20回技能オリンピック大会

日常の技能を發揮、各チーム健闘

62・10・6(火)九時三十分より、第20回引込および内線工事技能オリンピック三重県大会を開催。

早朝より降ったりやんだりの天候であったが、各支部からの集合時間の関係もあり実施を六時に決定。

各支部一チーム、東海電気チームの計五チームが揃った九時頃には小雨が降り



よく実際に工事配線課題

では例年どおりであるが引込・計器工事については今

は雨も大分強くなり、止むを得ず作業盤を庇の下へ移動のうえ実技開始、幸い引込工事に着手の頃には雨もやみ、再び作業盤を本位置に移し本格的な作業となる。

出す始末、急遽開会式場を津電気会館内部に移転、予定どおり開会、大会長の開会あいさつに引き続き、前回の優勝の亀山地区より優勝旗の返還、ついで来賓の三重県消防防災課長、中部電力(株)津支店長から励ましのこ

回は例年どおりであるが引込・計器工事については今

は雨も大分強くなり、止むを得ず作業盤を庇の下へ移動のうえ実技開始、幸い引込工事に着手の頃には雨もやみ、再び作業盤を本位置に移し本格的な作業となる。

加しつあるので中部電力としても推奨することに決定され、協力会中部連合会としてもタイアップし推奨指定承認のうえ、近く本格的な施設となるものである。中部連合会大会においても同方式採用がすでに決まっていますので、三重県大会においても諸準備に技術委員会員の事前出勤により鋼管ポール建込み施設を完備したものである。競技進行中各報導関係・八社が取材に来所、NHK、三重テレビ始め各新聞社のカメラの放列が続ぎ、早くもお昼のニュース・夕方のニュー



鋼管ポールへの引込線取付

スの時間には各テレビで放映され、電気工事業者の技術・技能の向上を目的に正確さと安全第一の真剣な大会模様が広く報導された。

実技競技終了後、接遇態度、学科競技と予定どおり終了、総合審査の講評が小沼審査委員長から発表され、続いて結果について上村技術委員長からつぎのとおり発表。

優勝 四日市支部

大東電気チーム

準優勝 津支部

津チーム

発表後、直ちに表彰式に

入り角谷大会長より優勝旗・賞状・メダル・トロフィーなどの授与、併せて努力敢闘された全チームに対しても努力賞をそれぞれ授与、引続いて中部電力賞、保安協会賞が授与され、会場一ぱいの応援者から健闘された選手一同に暖かい拍手で称えられた。

なお入賞した二チームは県代表として十月十六日開催される中部大会に出場されることとなり、引続き特訓に励まれた。

十月十六日、愛知県日進

(四ページへつづく)

(三ページよりつづく)

町の中部電力㈱能力開発センター研修所に於て開催された中部大会に出場、県大会同様各競技にチームワークの妙を大いに発揮、堂々と競技に挑戦、各県代表による大会とあつて競技場内はキビキビした熱気あふれる作業ぶりを展開、予定時間内にはすべて完了、接遇・学科競技を終え総合審査の結果、残念ながら総合入

賞は逸したが部門賞として

つぎのとおり表彰

◎実技賞第一位

四日市支部

大東電気チーム

◎安全賞第一位

津支部

津チーム

三重県代表として大いに日常の成果を発揮活躍された。

本部事業の主なもの

◎62・9・8 (火)

中部経営セミナー参加

(別項のとおり)

◎62・9・11 (金)

理事会(全員出席)

加入・退会者の承認

技能オリンピック大会実施要領承認

各委員会事業報告

◎62・9・16 (水)

雇用管理、健康管理講習会(上野会場)

◎62・9・17 (木)

経済講演会(松阪会場)

◎62・9・22 (火)

経済講演会(名張会場)

◎62・10・6 (火)

第20回技能オリンピック三重県大会

(別項のとおり)

◎62・10・9 (金)

職長研修会(津会場)

◎62・10・13 (火)

青年部ゴルフ大会(鈴鹿カントリー、26名参加)

◎62・10・16 (金)

第20回技能オリンピック大会中部大会

(別項のとおり)

昭和62年度電気工事士試験実施結果

		名古屋	静岡	津	岐阜	長野	合計	
受験申請者	受験申請者総数	7,945	3,359	1,403	1,607	1,458	15,772	
	内訳	筆記受験者	6,000	2,529	1,002	1,119	1,028	11,678
		筆記免除者	1,945	830	401	488	430	4,094
筆記試験	受験者数	5,680	2,413	950	1,072	971	11,086	
	合格者数	2,570	1,087	438	625	465	5,185	
	%	受験率	94.7	95.4	94.8	95.8	94.5	94.9
		合格率	45.3	45.0	46.1	58.3	48.0	46.8
技能試験	受験有資格者数	4,515	1,917	839	1,113	895	9,279	
	受験者数	4,267	1,796	792	1,061	859	8,775	
	合格者数	1,019	322	184	174	151	1,850	
	%	受験率	94.5	93.7	94.4	95.3	96.0	94.6
		合格率	23.9	17.9	23.2	16.4	17.6	21.1
総合合格率%		12.8	9.6	13.1	10.8	10.4	11.7	

注) 1、合格率=合格者数/受験者数×100(%)
2、総合合格率=技能試験合格者数/受験申請者総数×100(%)

62年度電気工事士試験結果

既報のとおり
62・9・1付にて電気工事士法が改正されましたが、旧法による62年度電気

工事士試験については5月31日筆記試験、7月26日技能試験が全国一斉に実施され、合格発表が9月18日、

本人宛それぞれ通知されました。中部管内の結果は別表のとおり発表されました。

◎62・10・17 (土)

雇用管理、健康管理、講習会(鈴鹿会場)

◎62・10・21 (水)

雇用管理、健康管理講習会(伊勢会場)

◎62・10・22 (木)

雇用管理、健康管理講習会(尾鷲会場)

◎62・10・22 (木)

全日電工連第五回全国大会(於、仙台市)三名参加)

◎62・10・22 (木)

経済講演会(尾鷲会場)

◎62・10・23 (金)

社会保険・退職年金研修会(桑名会場)

◎62・10・26 (月)

職長研修会(員弁会場)

《各地区リレー訪問記》

員弁地区を訪ねて

養老と鈴鹿の二つの山脈に囲まれ岐阜、滋賀両県と接する三重県の最北端、員弁地区を訪問。

桑名市を起点に員弁川沿いに北上する近鉄北勢線を利用、始発の西桑名駅から終点の阿下喜駅(約20km)の手前「麻生田」駅で下車、近鉄名古屋線と違い平均時速約40km位でのんびり走る。レール幅約76cmの狭

軌道単線である。西桑名駅から約50分、のどかな田園風景を楽しみながらのローカル線を利用するのも楽しい。桑名から岐阜県関ヶ原、養老、滋賀県彦根に至る主要道路沿いに員弁地区事務所がある。

員弁電設協同組合概要

- (所在地) 員弁郡北勢町麻生田麻野三四七六一
- (電話) ○五九四七一一二四一七
- (設立年月) 昭和48年11月
- (建物面積) 一七〇㎡
- (出資金) 五八五万円
- (組合員) 三九名

に「員弁電設」の大きな看板が目につく。

昭和48年に設立された員弁電設協同組合の会館で、協力会、工業組合員弁地区事務局を兼ね、地区組合員の拠点となっている。

員弁地区は別図のとおり、員弁郡五町と四日市市保々地区の一部が管内であり、組合運営についてはこの五町別の地区制を採用、各町(地区)別責任態勢で運営されている、組合員数も各町単位に七、八名で均衡を保っている。

日常の公共的な受注工事についても各町別単位を最優先し地区責任施工として組合員の協力度は高い。

また員弁電設協同組合の特色としては県下に例のない協同組合組織としての建設業許可であり電気工事業届出済みの団体である。

共同受注体として許可の

あった昭和52年度から積極的な事業活動を展開しているが毎年平均して公共事業関係について六、七件、受注工事額の多い年で八・九千万円、平均四千万円程度の共同受注の実績があり組合事業運営の基礎が固まりつつある。

これらの共同受注の施工にあたっては地区担当を優先するのは勿論、各施工責任者についても全員が交互

に分担する等共同受注の責任感醸成に努めている。

このような運営方法がとれるのも同地区組合員の企業規模が殆んど差がなく似かよっているため協力度と団結力が一致するためか今まで一度もトラブルなしで今日に至っているとのことである。

また日常の各組合員受注の施工についてもお互いの
(六ページへつづく)



応援協力態勢が自然に成立している。なおこの背景には協同組合設立十周年を期して全員で誓い合った宣言が大いに役立っている。

会館の会議室正面にも掲示され、また全組合員にも配布済みのものであるが例会の都度唱和し確認を繰り返して徹底している内容はつ

ぎのとおり。

宣言書

- 一、我々は電設組合を守り地位の向上をはかろう
- 二、我々は技術を生かし経営の合理化につとめ効率を高めよう
- 三、我々は信義と友愛の精神を養い協同の力を発揮しよう。

四、我々は安全衛生管理を尊重し明るい豊かな家庭をつくろう

五、我々は心を一つにして組合の共存共栄をはかろう

昭和59年3月10日
員弁電設協同組合

この宣言書の誓いを皆で守り組合を盛り立てる意欲は旺盛で組合に対する協力度も抜群であり毎月の例会にも90%以上の出席、しかも殆んどが本人出席という熱心さ、また毎年実施している精密健康診断、ソフトボール大会等、健康管理面にも非常に力を注いでいる。また各町単位の地区責任態勢の結果、各町単位における地域行事についても積極



員弁地区役員一同



的な協賛を実施するなど日常活動を通じての共同受注成果がでてくるものと考えられる。

二つの山脈に囲まれた地域だけに三重県内では雪の多い区域であり、また岐阜・滋賀両県と峠を界にしているこの地方は昔からの交通の要所でもある。

当地方の電気歴史も古く大正8年には十社村営第一発電所が完成し出力10kwで約五〇〇戸に供給したことに始まり、続いて大正14年に同第二発電所が完成（出力25kw）以降昭和13年12月当時の東邦電力㈱に合併、今日に至っている。

(訪問・村崎、大矢)



員弁電設会館

会員異動のお知らせ

会員異動は下記のとおりです、名簿の追記修正をお願いします。(事務局)

地区	種別	新旧	コード番号	事業所名	代表者	住所	電話	郵便番号	登録届出申請番号
津	加入		31126	間瀬電気	間瀬成人	津市高野尾町3006-30	0592 30-1513	514-22	62-63
松阪	承継加入	新	32126	横山電気工事株式会社	横山隆之	一志郡嬉野町新屋庄53	05984 2-3337	515-22	(届出) 87-13
		旧	"	横山電気工事商会	"	"	"	"	(届出) 56-32
		新	34441	(株)近藤電機工事	近藤修	桑名市常盤町35	0594 22-3894	511	(届出) 87-14
		旧	"	近藤電機工業所	"	"	"	"	(届出) 51-60
亀山	"	新	34929	(株)藤原電気工業所	藤原計	亀山市阿野田町1095の56	05958 2-6809	519-01	(届出) 87-15
		旧	"	藤原電気工業所	"	"	"	"	62-3
上野松	退会		31446	丸五商会	岡森克司	阿山郡伊賀町愛田399	059545 3337	519-14	61-253
			32021	(株)三重電機商会	小野寺正和	松阪市本町2182	0598 21-0515	515	61-192
久居	変更	新	31348	前川電気店	前川正夫	一志郡一志町大字波瀬1886	05929 4-7047	515-25	(届出) 87-12
		旧	"	前川電器店	"	"	"	"	61-11
		新	34002	増田電気工事株式会社	増田均	四日市市新正3丁目7-36	0593 52-4808	510	(届出) 460040
		旧	"	"	"	四日市市新正3丁目2-41	"	"	"
		新	34145	日名電機	名草茂信	四日市市貝塚町池端145-1	0593 46-9170	510	60-85
員弁	"	旧	"	"	"	三重郡楠町本郷265-1	0593 97-4634	510-01	"
		新	34611	(株)エンドウラジオ	遠藤千和子	員弁郡大安町南金井1062	05947 7-0507	511-02	61-22

〈松阪地区だより〉

全国電気使用

安全月間行事実施について

今回は公共施設の保育所、幼稚園、小中学校ならびに独居老人世帯配線診断をすることに、各市町村役場と事前に行い、八月十八、十九、二十日の三日間で会員一〇三名が出動し各ブロック別に分担し早朝から焼つくような暑い中を管理人及び民生委員様の案内で個別に訪問し、小規模の不良箇所(コンセント、電球の取替等)

今回は公共施設の保育所、幼稚園、小中学校ならびに独居老人世帯配線診断をすることに、各市町村役場と事前に行い、八月十八、十九、二十日の三日間で会員一〇三名が出動し各ブロック別に分担し早朝から焼つくような暑い中を管理人及び民生委員様の案内で個別に訪問し、小規模の不良箇所(コンセント、電球の取替等)



PR巡回車

公共施設並に独居老人世帯配線診断

内訳

- 公共施設 二六件
- 保育所 二七件
- 幼稚園 二一件
- 小学校 四件
- 中学校 四件
- 独居老人世帯 一四五件

合計 二二三件

上期安全

パトロール実施

八月二十五、二十六日、中電六名、協力会役員十一名、六班に別れて実施した。

パトロールの結果

1、保安帽の未着用二件あったが、屋内外の作業を問わず必ず着用するように指導した。服装については夏期でもあり薄着であるが良好であった。

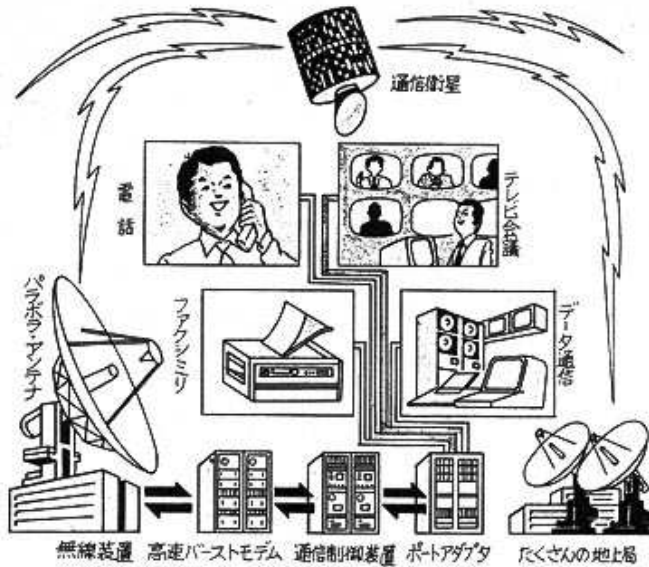
2、車輛駐車位置も空地等を利用し、公衆災害防止に努めていた。

3、店舗パトロールについては登録標識訂正を要するもの五件あり、管理について充分留意するよう指導した。

4、書類面のチェックが店主不在のため出来なかったが、業法関係でもあり今後個別パトロールで整備したい。

用語解説

通信衛星による通信の特徴は、地上の通信回線を用いる場合に比べて、どのような長距離でも中継点が一回で済むことがまずあげられる。また離島や洋上の石油プラットフォームや船舶にも同時に中継することがで



通信衛星

加えて地上回線では、長距離通信をする場合など、伝送速度の点で限界があったが、衛星通信では高い無線周波数を用いて高速データ伝送もでき、広帯域の電波も使えることからテレビ会議などにも利用できるよ

わが国の通信衛星は五八年二月にCS-2aが、同年八月にCS-2bが打ち上げられており、六二年にはCS-3の打ち上げが実施された。

通信衛星では、一つの衛星の限られた電波を有効に活用して、出来るだけ多くの地上局が利用できるよう、同じ電波で通信する時間を時間間隔を感じない程度に短い間隔で分割（時分割通信方式）して使う方法がとられている。

設計事務所の活用



分離発注促進シリーズ

⑨

分離発注のメリットも、総合発注の欠点もよくわかったが、自分のところには分離発注をするために必要なスタッフがいない、とおっしゃる建築主の皆さんもいらっしゃるかと思います。このような場合には、設計事務所はその役割を委任することをお勧めします。

設計事務所は、中立の立場で建築主の利益を考え、建築と設備の両面について、公平な監理ならびに調整の役を果たしてくれるからです。

しかし、設計事務所にコーディネートを頼めば、それだけ余分な費用がかかるのではないかと心配されるかも知れません。ところが、総合発注にしたからといって、その費用は表向きはともかく、実際には建築業者の請負金額の中に含まれているのです。そのうえ建築業者が設備業者から得るマージンや、工事の質的な面まで考え合わせると、設計事務所に依頼することによって、結果的に得るところは多大であるというものです。